

キープサーモウォール採用 LIXIL屋根放射熱対策

小山リーク（リクシ）製作所の屋根放射熱対策工事に、キープサーモウォール（遮熱シート）が採用された。アイベック宇都宮営業所が受注し、サンコー塗料（水戸市）が現場取付施工を担当。屋根放射熱の新たな熱中症対策として注目が高まる。

キープサーモウォールは、建物が暑くなる最大の原因「輻射熱」を97%カットする特殊遮熱フィルム仕様の高性能遮熱材。倉庫・工場・住宅等の屋根や壁に使用することで、太陽からの熱（輻射熱）を反射し、熱の侵入を抑え、建物内の温度上昇を防ぐ。

当日の現場には、あらかじめ特注サイズで加工して持ち込み、8月16日から4日間という短期間で施工面積約1300㎡に取付を完了させた。

小山リーク製作所では工場にエアコンを完備しているが、荷さばき施設は出入荷が多く施設内の空冷対策に苦慮。移動式のエアコンバスーカや扇風機を設置する中、5カ年計画の総仕上げとして屋根放射熱対策の工法を模

トする特殊遮熱フィルム仕様の高性能遮熱材。倉庫・工場・住宅等の屋根や壁に使用することで、太陽からの熱（輻射熱）を反射し、熱の侵入を抑え、建物内の温度上昇を防ぐ。

当日の現場には、あらかじめ特注サイズで加工して持ち込み、8月16日から4日間という短期間で施工面積約1300㎡に取付を完了させた。

討していた。そうした所、担当の塚谷直樹氏（小山工場業務推進課企画チームリーダー）は東京ビックサイトで開催された展覧会でキープサーモウォールの存在を知り、通常の屋根塗装や複数社の工法を比較検討。短工期でトータルコストに優れた同商品の採用を決めた。「見た目も美しく環境に



天井に遮熱シートを取付

も優しい。従業員熱中症対策となり良いこと尽くし。施工後のWBG T値（暑さ指数）の減少が楽しみ」と塚谷氏。

アイベック宇都宮営業所の三平利明課長は「熱中症対策とCO₂削減、労働環境の改善のため、複数社ある中から施工方法と実績などでキープサーモウォールを採用頂けた」と感想。

サンコー塗料の古平仁志常務も「おかげさまで採用実績が増えている。労働環境改善として熱中症対策は最も注目されている」とさらなる受注拡大に期待。現場統括の岩上征直氏も「屋根の上に登って行う遮熱塗装と比べ、遮熱シートの取付は手間も耐候性も違ってくる。キープサーモウォールは受発注者にとつてメリットある工法」と説明。

残暑とはいえ、まだまだ暑さ厳しい夏。喫緊の課題である熱中症対策の一環としてさらなる販路拡大が期待される。